

## パナマ内政・外交（2020年6月定期報告）

### 【ポイント】

○1日、経済再開第2ブロック解除、完全外出禁止から夜間外出禁止措置への移行が行われたが、8日より、クラスター感染の拡大が顕著となったパナマ県及び西パナマ県においては完全外出禁止が再実施されることとなった。また、国際線一時停止措置も7月23日までに延長された。

○24日、内閣改造が行われ、社会開発大臣、住宅大臣及び保健大臣が変更となった。

○外交面においては、13日にカナダとの間で電話首脳会談が行われたほか、日本、中国、カナダからの支援が報道発表された。

### 【本文】

#### ●内政

##### 1 規制解除と首都圏における感染拡大

(1) 1日、経済活動再開に向けたロードマップの第2ブロックに属する業種の活動が解禁された。また、完全外出禁止令も解除され、午後7時から午前5時までの夜間外出禁止措置へと移行した。

(2) 一方、首都圏の低所得者層が多く暮らす地域を中心に、クラスター感染が発生し、実効再生産数(Rt)が1を上回る地区が20を超え、8日より、パナマ県及び西パナマ県においては、完全外出禁止が再実施されることとなった。

(3) サンドバル保健省諮問委員は、10日時点で全国における全病床4989床の内40%（2118床）、人工呼吸器612台の内65%（398台）、ICU及び準ICU病床458床の内39%（179床）が使用可能な状況にあるが、この数値には注意が必要であり、首都圏主要病院のICU病床は、既に稼働率90%以上となっており、飽和状態にある旨公表した。

##### 2 国際便の一時運航停止措置延長

16日、当国民間航空庁は、3月22日から始まり、6月22日まで延長されていた当地発着国際便の一時運航停止措置を更に30日間再延長する旨の決定を官報に掲載した。

##### 3 内閣改造

(1) 24日、コルティソ大統領は記者会見を行い、内閣改造とこれに伴う3閣僚の交替を発表。新たな閣僚として、マリア・イネス・カスティージョ・ロペス氏を社会開発大臣に、ロヘリオ・パレデス・ロブレス前住宅省次官（住宅担当）を住宅大臣に、ルイス・フランシスコ・スクレ前保健省次官を保健大臣に任命した。新保健省次官としては、イベッテ・ベリオ医師が任命された。

(2) また、25日、大統領の下に、エイラ・ルイス保健衛生担当大臣（ministra consejera）、ラウ・コルテス社会保険庁長官、3名の元保健大臣、

エンリケ・メンドサ・パナマ大学医学部長から成る諮問委員会が発足した。これに伴い、26日、保健省の専門家諮問委員会は解散し、各専門家諮問委員は割り当てられた分野別委員会のメンバーとして活動することとなった。

## ●外交

### 1 パナマ・カナダ電話首脳会談

(1) 13日、コルティソ大統領はツイッター上に、トルドー・カナダ首相と電話首脳会談を行った旨投稿し、トルドー首相から同国国民のカナダ帰還へのパナマ側の協力につき謝意が表明されたこと、及び、新型コロナウイルスの動向並びに二国間協力につき協議したことを明らかにした。

(2) これに関し、フェレル外務大臣は、パナマとカナダの二国間関係が、政治対話及び協レベルにおいて最良の状態にあると述べた上で、二国間での政策対話メカニズムを強化するだけでなく、リマ・グループによるベネズエラ問題への取組や、米州機構に関連するテーマ等ラ米域内におけるイニシアチブを調整している旨発言した。

### 2 各国の支援

当地外務省はプレスリリースにて、22日付けで日本政府からの約550万ドルの無償資金協力、23日付けで中国政府からの人工呼吸器10台の供与、25日付けでカナダ政府からの可動式ユニット病院2棟の供与などにつき公表した。

(了)